

Ⅳ―① 県市町教育委員会とのコラボ研修(小中特)

法令研修である「中堅教諭等資質向上研修Ⅰ」を香川県教育委員会とコラボして行っている(6年経験者対象、年6回の研修のうち1回を附属教員が担当)。夏季休業中に受講者が2学期に授業実践する学習指導案を附属学校に持ち寄り、附属教員が指導に当たっている。研修は、同教科少人数グループで行い。受講者の学習指導案を具体的に模擬授業等で練り上げていく形態で実施している。この取組をきっかけにして、附属学校と公立学校が常につながり、日常の公開授業等、気軽に附属学校に足を運び、共に学び合える関係になっている。また、附属教員にとっても地域の若手教員にあこがられるような授業を公開しようとモチベーションを高めている。

<1 受講者の声>

- ・模擬授業をしたことによって、自分自身の悩みや不明確だったことが、はっきりとすることができた。そして、それを様々な意見を頂いたことで、授業の展開が非常に整理することができた。早く授業をしてみたいと思った。
- ・質の高い発問について楽しく学べた。教科の要となる点について専門的な観点から教えてくださったので、勉強になった。
- ・新学習指導要領の変更点を中心に学べたのでどのように変わったのか、どう指導や評価をしていけばよいのかが分かった。
- ・単元後に子供がどのような姿になってほしいかを考えることで、授業をすることが楽しみになった。たくさん刺激を受け、頑張ろうと思えた。
- ・動画での実際の授業の様子を基に授業づくりができて勉強になった。自分が今後どう授業デザインしていくかを考える良い機会になった。
- ・指導案検討のみならず、普段の授業のやり方や疑問点等、様々なことを相談できてよかった。
- ・一人で考えていると客観的に考えられなくなってしまっていたので、複数人で検討できてよかった。



<研修生の模擬授業を通して>



<少人数グループで(音楽)>



<少人数グループで(算数)>

<2 附属教員の声>

- ・少人数のため、一緒に教材研究をしたり、実際の授業の具体(授業の進め方・教具等)について相談したり、じっくり時間をとってできた。
- ・同じ教科を極めていく中堅の先生方と授業について真剣に話をする場は講師側にとっても大変勉強になった。
- ・互いに質問し合うことで、授業者がしたいことを明確にし、方向性を見いだすことができた。先生方の指導案や模擬授業を見ることを通して、自分の教材研究になった。
- ・受講者が持参した動画を基に授業づくりの演習を行った。少人数で行う研修であることで、全員が自分の意見を述べることができおり、質の高い研修になった。
- ・ある程度経験を積んできている先生方が集まり、授業に対する思いを語り合うため、違う角度から授業を見直したり、新たな教材や指導方法の提案があったりと、私たちも学ぶべきことが多かった。
- ・意欲的に授業改善に取り組もうとしている先生方ばかりで、私も良い刺激をもらった。特に見取りにくい思考力の評価について悩みをもっている人が多く、一緒に考えていくことで少しずつ明確になっていった。